

実施報告

北海道 NGO 相談キャラバン 2013

キャラバン企画（1）

1. 企画名 : 知ってみよう！身近なところに国際協力
【形態：相談対応サービス・講演・セミナー・その他（ ）】
2. 出張者氏名：池田 誠
3. 協力団体 / 依頼元団体名：ワーカーズコープ釧路
4. 実施予定日時：平成 25 年 10 月 18 日（金） 10:00～12:00
5. 実施場所：釧路市北大通 12 丁目 1 番 14 号 ビケンワークビル 3 階
6. 企画の概要及び対象者

釧路管内で若者の自立支援を手掛けているが、その中で広い視野を持って今後活動できるように、若者のこれからに国際的な活動も考えてもらおうという講演会。身近な国際協力としてのフェアトレードを紹介すると共に、若者の国際的なキャリア支援につながる話をした。

若者および支援担当者 25 名

7. 所感や効果

参加者の中には、ひきこもりの人たちも参加し、海外での活動について大いに興味を示していた。また、企業の人も数名参加しており、国際協力と企業の CSR について質問もあり、NGO への関心を感じることができた。地域に刺激を与えることができた。



キャラバン企画（2）

1. 企画名 : 地球の視点で考える！環境と国際協力
【形態：相談対応サービス・講演・セミナー・その他（ ）】
2. 出張者氏名：池田 誠

3. 協力団体 / 依頼元団体名：霧多布湿原ナショナルトラスト
4. 実施予定日時：平成 25 年 10 月 19 日（土） 10：00～12：00
5. 実施場所：厚岸郡浜中町仲の浜 122

6. 企画の概要及び対象者

日本で初めて認定 NPO を取り、環境問題に取り組む団体が、今後、積極的に海外の人を受け入れて、活動をしてゆきたいということで NPO 及び地域住民の意識を高めてゆこうというもの。東日本大震災の時にも、NGO と連携して被災地支援をした実績もあり、更なる NGO 活動との連携を求めている。環境分野に関わる NPO スタッフおよび一般住民 25 名

7. 所感や効果

環境分野ではトラスト運動など先進的な取り組みをする団体がこれからの方向性を考える上で、国際的な視点を入れることで幅を広げることができた。また、地域リーダーである団体とつながりを生むことができたのは北海道全体としても大きな意味が生まれたと考えられる。



キャラバン企画 (3)

1. 企画名：北海道国際協力フェスタ 2013
【形態：相談対応サービス・講演・セミナー・その他（NGO 相談コーナー）】
2. 出張者氏名：池田 誠
3. 協力団体 / 依頼元団体名：北海道 NGO ネットワーク協議会
4. 実施予定日時：平成 25 年 10 月 20 日（日） 10：00～16：00
5. 実施場所：札幌駅地下広場（北 3 条交差点広場）
6. 企画の概要及び対象者

北海道の NGO 団体が集まって、地域に国際協力を広めようというイベント

に参加して、NGO 相談業務を行う。1 日平均 8 万人の往来がある場所で、NGO 相談についての広報を行い、地域の国際意識の向上を少しでも進めることができた。

一般対象 700 人 相談目標 18 件

7. 所感や効果

初めて札幌の地下歩道（チカホ）で行われた NGO のイベントであったが、広報が行き届いていたことで、NGO に関心のある人たちの多くが訪れた。また、一般のお客さんからの相談業務も受けることができて、国際協力の広がりを生むこともできた。



2013 年 10 月 22 日

NGO 相談員による出張サービス実施報告

特定非営利活動法人 難民を助ける会

企画名：神戸大学法学部「対外政策論」における国際協力・人道支援に関する特別講義

開催日時：2013 年 10 月 21 日（月）8 時 50 分から 10 時 20 分

主催者：神戸大学法学部 多湖淳研究室

場 所：神戸大学六甲台第 1 キャンパス第二学舎 120 教室

出張者：堀越 芳乃

参加者：約 40 人

実施内容：

講義を行った対外政策論のクラスには、国際協力分野で働くことを希望する学生が多数集まっている。学生が国際協力の実務や活動現場で直面する課題に関心を寄せていることを踏まえ、NGO の活動がどのように実施されているか具体的にイメージしてもらえよう講義を行った。

当会のスーダンでの活動を例に、NGO による活動に関わる国際協力のアクターを紹介し、NGO と国連機関、国連 PKO、政府機関等との連携・調整、それぞれの役割について紹介した。また、業務実施において、日本人スタッフ、スーダン人スタッフ、それぞれが携わる業務を紹介し、具体的に日本人がどのような業務に従事しているのか紹介した。

また、国内外の支援活動を踏まえ NGO が得意とする活動を紹介する一方、NGO による活動が難しくなった事例などを紹介し、課題を学生らとともに検討した。

所感：

国際協力には、国連、政府援助機関、NGO など様々なアクターが存在するが、活動地で、それぞれがどのような役割を担い、活動しているのか、学生がイメージすることは容易ではないように思う。今回のように、実務に携わっている者が直接話をするすることで、各学生が国際協力の様々なアクターへの理解を深め、自分の希望に合った働き先を見つける一助となることを願っている。

今回は、スーダンでの活動をメインに話したが、東日本大震災の際に国際 NGO が海外での活動経験を活かし被災地で実施した活動についても関心が高いように見受けられた。



講義の様子

平成 25 年 11 月 10 日

外務省国際協力局
民間援助連携室長 殿

(団体名) 特定非営利活動法人
日本国際ボランティアセンター



NGO相談員による出張サービス実施のご報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり行いましたので、ここにご報告いたします。

記

1. 企画名: 「グローバルフェスタ JAPAN2013」での出張相談
2. 出張者氏名: (団体名五十音順): 8 団体
 (特活) アジア日本相互交流センター (ICAN) 井川定一
 (特活) AMDA 社会開発機構 (AMDA Minds) 山上正道
 (特活) えひめグローバルネットワーク 竹内よし子
 (特活) 関西国際交流団体協議会 (KNA) 真鍋瞳子
 (特活) 国際協力 NGO センター (JANIC) 津島由美子
 (特活) 国際ボランティアセンター山形 (IVY) 阿部真理子
 (特活) 日本国際ボランティアセンター (JVC) 佐伯美苗
 (公財) PHD 協会 (PHD) 井上理子
3. 主催等団体名: グローバルフェスタ JAPAN2013 実行委員会
4. 実施日時: 2013 年 10 月 5 日 (土)・6 日 (日)
 各日 10 時 00 分～17 時 00 分
5. 実施場所: 日比谷公園 (東京都千代田区)
6. 実施内容と効果・所感:

2013 年度は「見つけよう! 世界とつながるあなたのトビラ」を開催テーマとして、10 月 5 日・6 日と開催された。

初日は雨天と寒さにたたられたが、両日の入場者数は 78000 人を数え (主催者発表)、初日 5 日の対応件数不振は 6 日に取り返した印象を持った。全件数および主な質問相談は別紙報告書式のとおり。

2 日間にわたり、外務省エリアの中に NGO 相談員 8 団体による相談・質問コーナーを設置していただき、対面個別相談に応じることが出来た。

今回は NGO 関係者ならびに設立希望者からの相談は●件と、例年に比べ少なか

った。他方今回も就職・進路相談が多く、就職関連の案件で振り返ると、九州・中国・京阪・中部地方からこのイベントにわざわざ足を運び、相談員ブースを見つけたので立ち寄ったという方がおられた。なお、京阪地域からの来場者は、「ワン・ワールド・フェスティバル」を承知しており参加したこともあるが、なお情報を求めているとの由である。

学生の相談者が●件と例年どおり多いが、今回目立ったのは、授業やゼミで当該イベントに来るよう指示され、調べることが指定されているという学生の立ち寄りが増えた。

当日写真を添付する。

8. 交通費・宿泊費精算：各参加団体から請求のこと。

以上

平成 25 年 11 月 7 日

外務省国際協力局
民間援助連携室長 殿

特定非営利活動法人
横浜 NGO 連絡会
理事長 石塚



NGO 相談員による出張サービス実施報告

NGO 相談員による出張サービスを下記のとおり企画実施いたしましたので報告いたします。

記

1. 企画名：JICA ボランティア募集説明会における出張相談
2. 出張者氏名：小俣典之、萩原悦子
3. 依頼元／主催団体名等：JICA 横浜
4. 実施予定日時：平成 25 年 10 月 9 日(水) 19 時～21 時
5. 実施場所：JICA 横浜 地階体育館
*9 月 26 日(木)に開催された前回の JICA ボランティア募集説明会における出張サービス時と同様に、会場正面に向かって左側壁面に JICA によるボランティア募集相談コーナーとは独立して NGO 相談デスクを設置した。
6. 企画の概要
 - ①企画内容：平成 25 年度秋募集 「体験談&説明会」
青年海外協力隊／シニア海外ボランティア：19 時～21 時
 - ②目的：JICA ボランティア以外の国際協力活動、NGO 活動、ボランティア活動などについての幅広い相談に対応する。
 - ②対象：対象は、シニア海外ボランティア、青年海外協力隊の参加希望者
募集説明会参加者数
シニア海外ボランティア：31 名
青年海外協力隊：74 名
7. 相談件数：3 件（シニア 2 件、青年海外協力隊：1 件）
8. 所感および効果など
今秋の募集時から JICA ボランティア募集説明会のプログラム自体が、今まで

別々に実施していたシニアボランティアと青年海外協力隊向けのプログラムを同時に開催するなど大幅な設計変更がなされており、まず、新しいプログラムの流れ自体を把握することが重要であると感じた。

NGO 相談のブース設置場所については、前回、9 月 26 日の出張相談時から新たな場所（実際には過去の実施場所に戻った）で行なうことにより、相談者が全く来ないといった過去の出張サービスのようない状況は解消された。また、壁面に NGO 相談の趣旨などを明記したポスターを掲示することにより、JICA が実施する相談コーナーとは、違う相談場所であることを明確に認識をした相談者の来訪があり、ブース設置についての種々の工夫は、効を奏しつつあると思われた。

JICA による相談コーナーの運営を担当する青年海外協力協会（JOCA）の課長や職員とも情報交換を積極的に行ない、本会場における NGO 相談の PR 方法などについても話し合った。来場者に対して NGO 相談員の広報チラシを配布することなど、より積極的な PR 方法の導入なども PR 強化のアイデアとして挙げた。次回以降の出張サービス時における実現を検討したい。

9. 当日の様子



平成 25 年 11 月 7 日

外務省国際協力局
民間援助連携室長 殿

特定非営利活動法人
横浜 NGO 連絡会
理事長 石塚 章



NGO 相談員による出張サービス実施報告

NGO 相談員による出張サービスを下記のとおり企画実施いたしましたので報告いたします。

記

1. 企画名：JICA ボランティア募集説明会における出張相談
2. 出張者氏名：飯田信子、萩原悦子
3. 依頼元／主催団体名等：JICA 横浜
4. 実施日時：平成 25 年 10 月 13 日(日) 13 時 30 分～16 時
5. 実施場所：JICA 横浜
6. 企画の概要
 - ①企画内容：平成 25 年度秋募集 「体験談&説明会」
青年海外協力隊／シニア海外ボランティア：13 時 30 分～16 時
 - ②目的：JICA ボランティア以外の国際協力活動、NGO 活動、ボランティア活動などについての幅広い相談に対応する。
 - ②対象：対象は、シニア海外ボランティア、青年海外協力隊の参加希望者
募集説明会参加者数
シニア海外ボランティア：66 名
青年海外協力隊：60 名
7. 相談件数：5 名 (シニア：0 名、協力隊：5 名)
8. 所感および効果等

前回、出張サービスを実施した JICA ボランティア募集説明会(10 月 9 日(水))において、会場内で NGO 相談の PR をより積極的に実施する手法について青年海外協力協会(JOCCA)の担当課長らと討議したという経緯があった。これを受けて、今回の出張サービスでは、JICA ボランティア募集説明会の参加者全員に NGO 相談員自身が、NGO 相談員の広報チラシを直接手渡しして配布する PR

方法を初めて実施した。結果、相談件数自体は微増に留まったものの相談員内容や参加者の反応から NGO 相談コーナーの設置についての周知が、より深まったものと考えられた。次回以降の募集説明会においても同様の方法を継続して実施する予定である。

相談内容については、いずれも JICA による相談コーナーでは対応しきれない、NGO 相談にマッチした内容であった。JICA ボランティア募集説明会で NGO 相談を実施することの意義を再確認した。今後も JICA、JOCA などとの日常的な連携を基軸に JICA ボランティア募集説明会における NGO 相談の実施方式を絶えず検討し、より充実した相談業務が実施できるように努力していきたい。

9. 当日の様子



以上

平成 25 年 11 月 7 日

外務省国際協力局
民間援助連携室長 殿

特定非営利活動法人
横浜 NGO 連絡会
理事長 石塚 肇



NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施いたしましたのでご報告いたします。

記

1. 企画名：「よこはま国際フェスタ 2013」会場における出張サービスの実施
2. 出張者氏名：小俣典之（来場者数が多いため、横浜 NGO 連絡会の理事も交代で対応）
3. 依頼元／主催団体名等：よこはま国際協力・国際交流プラットフォーム
（構成団体）横浜市・JICA 横浜・公益財団法人横浜市国際交流協会・
日本赤十字社神奈川県支部・（特活）教育支援協会・
（特活）横浜 NGO 連絡会
後援：外務省、横浜市教育委員会、横浜商工会議所など
4. 実施日時：平成 25 年 10 月 19 日（土） 10 時 30 分～16 時 00 分
同上 10 月 20 日（日） 10 時 30 分～16 時 00 分
*但し、20 日（日）は悪天候のため 11 時過ぎに中止となった。
5. 実施場所：象の鼻パーク（横浜市中区海岸通 1）
6. 企画の概要
 - ①企画内容：「よこはま国際フェスタ 2013」会場のメインゲート脇に NGO 相談ブースを設置して相談対応を実施する。
 - ②目的：国際協力についての幅広い相談に対応する。
 - ③対象：来場者、参加団体、参加ボランティア
7. 相談件数 10 名
*参考：来場者数 15,000 人
8. 所感および効果等
「よこはま国際フェスタ 2013」（以下、フェスタ 2013）の主催者である「よこはま国際協力・国際交流プラットフォーム」は、当団体が事務局を担っている。構成団体の理解も得てフェスタ会場正面入り口に NGO 相談ブースを設置した。
小俣典之が全体管理者と相談対応に携わるとともに、当団体の理事 8 名も相談員と

してローテーションに入り、常時2名以上の体制を敷き複数の相談者へ対応ができるようにした。

今年は20日(日)は、悪天候のため11時過ぎに中止となってしまう相談件数も少なかったが、地域最大の国際協力イベントにおいて毎年NGO相談を実施し、また当日パンフレットにもNGO相談の実施について掲載することは、来場者や参加団体に対して本制度の広報効果があるものと思われる。

9. 当日の様子



以上

2013年11月9日

外務省国際協力局
民間援助連携室長 殿

認定特定非営利活動法人
アジア日本相互交流センター J-1 CAN
代表理事 田口 京子



NGO相談員による出張サービス実施のご報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり行いましたので、ここにご報告いたします。

記

1. 企画名：拓殖大学国際学部都市開発授業（東京開催）
【形態：相談対応サービス・講演・セミナー・その他（ ）】
2. 出張者氏名：井川 定一
3. 主催団体名：拓殖大学国際学部
4. 実施日時：2013年10月16日（水）15時00分～16時30分
5. 実施場所：拓殖大学八王子キャンパス（東京都八王子市館町815-1）
6. 参加者数：参加者 15人
7. 企画概要：

拓殖大学国際学部「都市開発」の授業において、「アジアの都市化とスラムの形成、その実態と対策」として、「フィリピンの首都マニラの都市化とスラム形成、その生活の実情、対策としてのNGOによる地域開発アプローチ」についての講演を行った。講義の後半では、NGOで求められている資質や必要なキャリアについての説明を行い、参加者からも多くの質問を受け付けた。

8. 所感及び効果：

参加者はこれまで都市開発に関する概要を学んできていたため、このタイミングでフィリピンの首都マニラの具体的な事例を取り上げたことは、参加者の都市問題に対する理解を深めることに貢献したと思われる。また、その問題を解決する方法として、NGOが実践する「地域組織化」という手法を紹介したことで、NGO活動の有効性も適切に伝えることができた。当日は、大型台風により、東京の至る所で電車が止まり、参加者数は限定的となったが、講演では、活発な質疑応答が行われた。



以上

NGO相談員による出張サービス実施報告書

9 月 24 日付貴信にてご承認いただきました、NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施いたしましたので、ご報告します。

記

1. 企画名 : JICA ボランティア秋募集説明会

【形態 : 相談対応サービス・講演・セミナー・その他 ()】

2. 催しの概況:

実施日 2013 年 10 月 3 日 (木) 18:00~20:30

場 所 JICA 中部

対象者 学生、社会人、退職者など一般など 75 名 対応件数 12 件

概 要 海外でのボランティア活動を目指す方々に、募集の概要、体験談の紹介、相談対応を行う JICA ボランティア説明会にブース出展した。JICA のように長期間での派遣ではなく、もう少し身近にできるボランティア、短期間で海外ボランティアしたいという問合せや、NGO スタッフになりたいがどうしたらよいかなどの質問を頂いた。

3. 実施内容:



◎ ブースでの個別相談に応じた

● 主な相談内容は以下のとおり。

・JICA ボランティアのような長期は難しいが、短期(1ヶ月)で海外ボランティアをしたい。特に、教育支援に関わるボランティアがいいが NGO で受け入れをしている団体はあるか。

・名古屋市内に住んでいるが身近でボランティアをしたい。特に、医療系 NGO でボランティアができないか。

・調理師免許を持っているが、それを活かして、協力隊に行きたいと思っている。その前に NGO で経験を積むことはできるか。

・仕事を辞めて協力隊に参加するか迷っている。まずは、仕事をしながら国際協力に関わることで経験を積みたい。

平日の夜開催であったが、75 名と多くの来場者があった。専門技術を持っていないため、事前に経験を積みたいという方が多く相談に訪れた。

NGO相談員による出張サービス実施報告書

10 月 21 日付貴信にてご承認いただきました、NGO 相談員による出張サービスを下記のとおり実施いたしましたので、ご報告します。

記

1. 企画名 : ワールド・コロボ・フェスタ 2013 相談員業務

【形態: 相談対応サービス・講演・セミナー・その他 ()】

2. 出張者氏名: (特活) 名古屋 NGO センター 門田一美

(特活) アジア日本相互交流センター・ICAN 中村由実子

3. 催しの概況:

実施日 2013 年 10 月 27 日 (日) 10:00~18:00 (台風により 1 日目は中止。2 日目のみ規模を縮小して開催された。)

場 所 栄オアシス 21「銀河のひろば」(名古屋市東区)

対象者 子ども、学生、社会人、退職者など一般。

うち、ブースに訪れた人は約 100 名、相談者は 30 名。

概 要 国際協力や国際貢献を行なう団体がブース出展・ステージでの発表などを行なうイベントへ 2 団体で協働し相談コーナーを設置した。名古屋 NGO センターは、近日中に開催される地域イベントの紹介やボランティアを募集している団体の情報提供、ICAN はスタディツアーや海外ボランティアに関する情報提供を行い、連携して相談に対応することができた。

4. 実施内容:



●主な相談内容は以下のとおり。

- ・ 高校 3 年生、日曜日しかボランティアに参加できない。自分でもボランティアができる NGO はあるか。
- ・ 将来、国際協力分野での仕事を考えている。
- ・ 特に技術は持っていないが、国際協力でボランティアをすることは可能か。
- ・ 海外でボランティアをしたいが募集している団体はあるか。
- ・ 海外の現場に一度行ってみたい。スタディツアーにはどんなものがあるか、費用等教えてほしい。

2004 年から開催されている恒例のイベントであるため市民の認知度が高く、「国際協力に関心はあるが、直接団体を訪問するのは気が引ける」という方が、多数来場し、地域でできるボランティアに関する質問が多く寄せられた。

2013 年 10 月 31 日

外務省国際協力局
民間援助連携室長 殿

特定非営利活動法人ソムニード
NGO 相談員 宮下 和佳



NGO 相談員による出張サービス実施報告書

NGO 相談員による出張サービスを下記の通り実施しましたので報告致します。

記

1. 企画名：ナマステ★インディア 2013 in KARIYA 【形態：ワークショップ】
2. 出張者氏名：上清水 温子
3. 依頼元／主催等団体名：刈谷市国際交流協会
4. 実施日時：平成 25 年 10 月 6 日（日）10 時 30 分～16 時 30 分
5. 実施場所：刈谷市総合文化センター、みなくる広場
6. 参加人数：2,500 名 うち、ワークショップ参加 42 名

7. 企画の概要

- (1) 企画内容：東海地域での日本・インド文化交流を目的とした上記イベントにおいて、外国（インド）の文化や生活を楽しく学ぶ、クラフト・ワークショップを実施する。
- (2) 目的：
 - ①ワークショップ参加者がインドの文化や生活を学ぶことを通じて、途上国・外国への関心を高める。
 - ②イベント来場者に対して NGO 相談員制度について周知する。

8. 実施内容：

南インドの農村の生活や文化、当会が実施しているプロジェクトを紹介しながら、南インドの植物などを材料としたクラフトづくり（アクセサリーづくり）をおこなった。その後、相談対応をおこなった。参加者からは、食べ物や生活習慣、言語といったインドに関する一般的な情報照会のほか、NGO でのインターンやボランティアの受け入れ状況など、具体的な参加方法についての相談も寄せられた。

9. 所感及び効果：

インドの生活・文化や国際交流に関心のある層が主要な参加者であったが、インドを切り口に国際協力・NGO の活動について知っていただく機会となった。本イベントでのボランティア活動をきっかけに国際協力や NGO に関心をもつよう

になり、熱心に質問する学生の姿も見られた。

また、NGO や国際協力に触れる機会が比較的多い都心部とは異なる、地方都市でのイベントに出展することで、NGO 相談員制度そのものの周知につながったと考えられる。



2013 年 10 月 31 日

外務省国際協力局
民間援助連携室長 殿

特定非営利活動法人ソムニード
NGO 相談員 宮下和佳



NGO 相談員による出張サービス実施報告書

NGO 相談員による出張サービスを下記の通り実施しましたので報告致します。

記

1. 企画名：平成 25 年度 JICA ボランティア秋募集「体験談 & 説明会」における相談デスクの設置 【形態：相談対応サービス】
2. 出張者氏名：田中 十紀恵
3. 依頼元／主催等団体名：JICA 中部
4. 実施日時：平成 25 年 10 月 12 日（土）14 時 00 分～16 時 00 分
5. 実施場所：JICA 中部 なごや地球ひろば 2 階 セミナールーム
6. 参加人数：100 名
7. 相談件数：13 件

8. 企画の概要

- (1) 企画内容：JICA ボランティア（青年海外協力隊及び日系社会青年ボランティア）への参加を希望する人、国際協力ボランティアに興味・関心のある人を対象とした、「JICA ボランティア体験談 & 説明会」に相談デスクを設置し、相談者からの質問・相談に応じる。
- (2) 目的：
 - ① JICA ボランティア以外の国際協力活動を中心に、地域や国内外で参加できる多様な国際協力活動への参加方法について周知する。
 - ② NGO 相談員制度について周知する。
- (3) 参加対象者：JICA ボランティアをはじめとする国際協力ボランティアに興味・関心を持つ学生、社会人、退職者など

9. 実施内容：相談員ブースにて、NGO に関する質問・相談に応じた。

- ・ NGO 相談員制度の活用方法について
- ・ NGO/NPO 活動への参加方法・情報収集方法について
- ・ NGO への就職状況、重視されるスキル、資格、経験について
- ・ NGO スタッフの具体的な仕事内容について

など



10. 所感及び効果：主催者から来場者に対して相談ブースの存在を周知していただいたことで、限られた人数ではあったが、特に NGO 活動も含めた、国際協力分野でのキャリア形成をめざす方からの相談を受けることができた。そのため、各相談者がめざしている活動や仕事に向かって、どう NGO と関わっていくことができるか、どういうアクションを起こすことができるかといった具体的な対応をおこなうことができた。

(特活)NGO 福岡ネットワーク:NGO 出張相談報告書(平成 25 年 10 月)

団体名:(特活)NGO 福岡ネットワーク

出張サービス企画名:「国際理解教育セミナー」ワークショップ体験 DAY

実施日時:平成 25 年 10 月 19 日(土) 10:30~16:00

場所:アイスクエアビル 5 階大会議室(佐賀市駅前中央 1 丁目 8-32)

(ア) 実施内容

本セミナーは、国際理解教育を行っている教員や地域の NGO 団体、協力隊に対し、「国際理解教育」について考える場として、特に今年はワークショップ体験に的を絞り、参加型学習を通して、国際理解教育の必要性や実践を学んでもらう場となりました。

当団体は、NGO の活動分野についてわかりやすく理解をしてもらうことを目的とした「川のワークショップ」を実施し、参加者とともにワークを行いながら、活動分野についての説明とその必要性を伝えていきました。また、今回は特に教育者や教育について学んでいる大学生に対して、日々の教育に「国際協力」を取り入れてもらうことも今回のセミナーにおいて目的としていたことから、実際に私たちがワークショップを実施している目的やねらい・実際に活用する時に必要となってくるものなど、参加者が実際の教育現場にて、ワークショップを取り入れることができるようにという視点も含め、話をしていきました。

(イ) 集客人数

参加者数:16 人

所感及び効果等

1 日を通したセミナーということもあり、熱心な参加者が多かったように感じました。参加者層としては教員・大学生・高校生・協力隊 OB・新聞記者など様々で、多くの視点からの意見が出され、有意義な時間とできたのではないかと感じています。

今回のセミナーでの出張相談は、以前九州の推進員会議にて、推進員向けに「川のワークショップ」を実施したことがきっかけとなりました。佐賀での出張相談は近年あまり多くはありませんが、今回の出張相談において、佐賀の大学生より国際協力への関わり方に関する相談を受けたこともあり、九州全般における「NGO や国際協力に関わりたいけど、関わり方がわからない・キッカケがほしい」と考えている方々に対する窓口として、福岡外においても NGO 相談員としての認知を深める必要性を感じました。



▲会場の様子



▲ワークショップの様子

平成 25 年 11 月 8 日

外務省国際協力局
民間援助連携室長 殿

特定非営利活動法人えひめグローバルネットワーク
代表理事 竹内よし子 印

NGO 相談員による出張サービス実施報告書

いつもお世話になっております。

さて、NGO 相談員による出張サービスを下記の通り実施いたしましたのでご報告申し上げます。

記

1. 企画名：「かがわ国際フェスタ 2013」

【形態：相談対応サービス・講演・セミナー・NGO 相談員デスク】

出張者氏名：新居 啓司

2. 依頼元／主催等団体名：かがわ国際フェスタ 2013 実行委員会（香川県、高松市、公益財団法人香川県国際交流協会、公益法人高松市国際交流協会、独立行政法人国際協力機構四国支部）
3. 実施日時：平成 25 年 10 月 20 日（日）9 時 00 分～16 時 00 分（9 時～9 時 30 分：準備）
4. 実施場所：アイパル香川 3F（香川県高松市）
5. 参加人数：（来場者数）約 3,600 人
6. 実施内容および所感、効果：

「かがわ国際フェスタ 2013」は、(1)在県外国人と県民の交流・ふれあいの場の提供、(2)県民の国際交流・国際協力・多文化共生に対する理解の増進と国際感覚の涵養、(3)国際交流・国際協力の担い手である県内の団体や関係機関相互の連携強化を目的として開催している。

今回は JICA 四国ブース横に NGO 相談員デスクを設置し、NGO 相談員空白県である香川県において、以下のとおり来場者の質問・相談に対応した。当日、あいにくの雨模様で、昨年ほどの入出はなかったが、NGO 活動に興味を持つ来場者の相談に応えることができた。

〔相談件数〕5 件

〔主な対応内容〕

- ① **相談内容** 国際協力に興味があり、将来 NGO を立ち上げたいと考えているが、どのような形態があるのか、また、一人で NGO を立ち上げることは可能か。**対応** 一人でも NGO の立ち上げは可能と思うが、一般に組織形態として大きく任意団体と特定非営利活動法人等の法人があること、それぞれのメリット、デメリットを説明した。運営していくための資金の調達について、寄付、募金、収益事業の実施、補助金や助成金等の方法があることを説明、地方の NGO の経営的課題についても説明した。
- ② **相談内容** NGO 相談員とはどういう制度なのか。**対応** 国際協力の経験と実績を持つ団体が地域毎に外務省の委嘱を受け、NGO の設立や運営、活動等 NGO に関する幅広い質問や相談に対応する旨、ちらしやホームページを紹介し説明した。

- ③ **相談内容** 語学力を活かしこれまで国際交流活動を行ってきたが、退職後、アフリカで国際協力活動をやってみたいと思っている。しかし、何をどうやって活動を始めたら良いかわからないので、また相談に乗って欲しい。**対応** NGO 相談員業務を説明し、相談があれば電話やホームページからメールで対応できること、また、相談内容によっては、関係する JICA や NGO も紹介できる旨説明した。



相談者対応



フェスティバルのイベントの様子

以上

平成 25 年 11 月 6 日

外務省国際協力局
民間援助連携室長 殿

特定非営利活動法人沖縄 NGO センター

NGO 相談員による出張サービス実施報告書

NGO 相談員として、出張サービスを実施しましたので、内容をご報告させていただきます。

記

1. 企画名：沖縄 NGO アジアパシフィック環境フォーラム「世界の美ら海をニコニコ 22 世紀へ」
2. 実施日時：平成 25 年 10 月 23 日（水） 9:00～17:00
3. 実施場所：沖縄科学技術大学院大学 OIST（恩納村谷茶 1919-1）シーサイドハウス
4. 実施内容：沖縄 NGO アジアパシフィック環境フォーラム開催に伴い、ブース出展を行った。

今回は主に海洋ゴミを中心とする環境問題や社会課題に関する内容であったため、環境団体を中心とした沖縄の NGO・NPO 団体の活動紹介や資料提供を行った。沖縄の NGO・NPO 団体や活動について紹介する。

5. 参加者人数：総勢 100 名

6. 所感及び効果

参加者はフィリピン、インドネシア、韓国、中国、イギリス、アメリカ、エストニア、日本と様々な国からの参加があった。平日ということもあり、沖縄の団体が直接参加することが難しい状況ではあったが、相談員コーナーを設け、沖縄県内の環境団体に取り組んでいる団体を中心に NGO・NPO や活動を紹介することが出来た。また、悩みを抱えている県内団体の参加もあり、関連団体を紹介することが出来、一助になれたのではないかと考える。

このような国際会議への相談コーナー出展は当会にとっては初めてのことであったが、工夫しながら、沖縄の団体と県外・海外の団体とつなぐ機会になるのではないかと考えられた。



海洋ゴミに関する現状、課題を自然、社会、経済、文化とテーマごとに分かれ共有し、今後何をすべきなのか話し合いを行った。

アリス様



相談員コーナーの様子。団体紹介や環境問題関連を中心とした資料を提供した。